

地域の防災についてお考えでしょうか？



地域の防災について

「阪神・淡路大震災」では、地震によって倒壊した建物から救出され生き延びることのできた人の約8割が、家族や近所の住民によって救出されており、消防、警察及び自衛隊によって救出された者は約2割であると調査結果が出ています。

➡ 災害時は地域住民で助け合うことで災害軽減に！

自主防災組織について

災害が発生したときに普段から適切な備えをしていれば、被害を軽減させることができます。「いざ」という時、お互いを助け合うため、日頃から町内や地域で防災活動に取り組む組織のことを、自主防災組織と言います。

➡ 自主防災組織を結成することで支援対象となり
防災活動がより円滑になります！

自主防災組織の活動

平常時

防災知識普及、地域災害の把握、防災訓練の実施、防災用資機材の整備 など

災害時

情報の収集・伝達、出火防止・初期消火、住民の避難誘導、
負傷者の救出・救護、給食・給水等の活動 など



自主防災組織に対する三沢市の支援

★資機材の整備費用

- ・ **60万円**の資機材整備費用補助 ※1度のみ

対象：消火器、携帯用ラジオ、チェーンソー、収納庫 など

★自主防災組織運営費用

- ・ **5万円** ※毎年

対象：防災訓練、研修参加費用の補助 など

※令和7年度の支援内容です。

Q&A

Q.普段の活動は具体的に何をすればよいですか？

A.豚汁やカレーなどの炊出し訓練を行い、お互いに顔を合わせる機会を増やして、住民の結束力を高めるのはどうでしょうか。

Q.自主防災組織を結成する利点は？

A.当市の補助金対象になる他、当市備蓄品を有効活用していただくため、賞味期限の近づいた**保存食や保存水の提供**を行っております。また、自主防災組織を対象とした**研修会等へのご案内**をいたします。

三沢市 総務部 防災危機管理課

電話：0176-53-5111（内線 252） FAX：0176-52-5655

ご不明な点やご相談がございましたらお気軽にご連絡ください